

## 第4次拡張事業 (昭和39年度～42年度)

### 有田川に水源を求めて

伊万里の水道は従来伊万里町への給水を目的としていたため、水源は市街地を流れる伊万里川に求めていました。その後、第3次までの拡張事業を行い給水してきましたが、これまでの施設では増大する水需要に対応できず、節水や時間給水を行うこともたびたびでした。特に、昭和42年9月24日から10月13日までの20日間は、6時間から20時間断水という厳しい給水制限を行わなければなりませんでした。



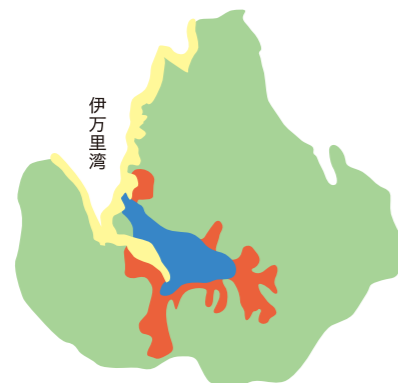
有田川取水施設 (又川堰)



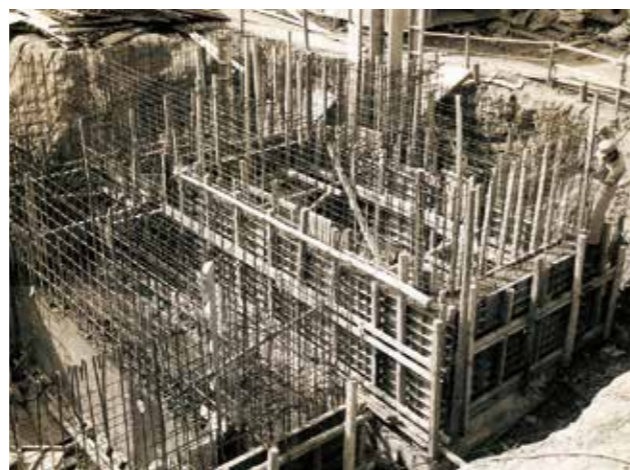
沈砂池掘削中

このような事態に対応するため、伊万里川よりも水量の豊富な有田川に水源を求め、浄水場も立花町東門蔵寺から二里町川東へ移転拡張することになりました。この第4次拡張事業は、昭和38年12月に認可され、昭和40年2月着工し、昭和43年3月に完成しました。

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



第4次拡張



着水井・導流渠の建設

#### 第4次拡張事業

計画給水人口	30,000人
計画1日最大配水量	9,000m <sup>3</sup>
計画1日1人給水量	300%
着工年月	昭和40年2月
竣工年月	昭和43年3月
総事業費	272,725千円

有田川に取水堰 (又川堰) を設け、ろ過は急速ろ過方式を採用し処理能力を大幅に向上させ、給水人口30,000人に、給水能力9,000m<sup>3</sup>としました。また、配水管を55km延長し、以前から給水の要望があった黒川町、大川内町、脇田町、東山代町の各一部まで給水区域を拡大することができました。



鞘管 (水道管を保護する外装管) で少しずつ地中を掘る工法



鞘管を使い鉄道敷地を横断



建設中の浄水施設